

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	当院における胎児母体間輸血症候群8例についての解析
研究責任者	上野 聡一郎
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	胎児母体間輸血症候群(FMT:fetomaternal transfusion)は新生児仮死や新生児死亡になり得る疾患です。先行する自覚症状は胎動減少のみであることが多く、診断に苦慮することも多いです。今回、胎児母体間輸血症候群の臨床的特徴を後方視的に検討し、今後の診断・治療に活用します。
研究方法	<p><b>【研究の方法】</b> 2010年1月から2022年12月までの13年間で当院で分娩となった症例の内、FMTと診断した8症例を対象としています。これまで診療でカルテに記載されている母体背景、母体合併症、母体検査所見、新生児検査所見、新生児予後などを収集し行う研究です。</p> <p><b>【個人情報の保護】</b> この研究にかかわる個人情報は、他に漏洩することのないよう慎重に取り扱います。情報・データは分析する前に氏名、住所、生年月日などの個人情報を削り、どなたのものかわからないようにします。</p> <p><b>【研究結果の公表】</b> 研究の成果は、氏名など個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や論文で公表したいと思えます。この研究に参加を希望されない方はご連絡ください。参加を希望されなくても不利益を被ることはありません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：上野 聡一郎、笠井 靖代 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>